

「宇宿貝塚史跡公園リニューアルによるSDGs加速化事業」サウンディング型市場調査結果

参加者	島内（5社） 島外（2社）
対話日時	2024/6/20～2024/7/10
市場性の有無	検討中
<p>施設の特徴や立地条件を考慮した、施設のコンセプト及び集客力につながるアイデアの提案について（縄文、世界自然遺産、SDGs等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅せ方を工夫することで集客の可能性はあると思われる。 ・ 施設の主な仕様が鉄骨、ガラスブロック、コンクリートといった冷たい・閉じた印象を与える空間となっており、施設の用途と調和されていない。 「環境文化」を発信する施設として再生を図るのであれば自然素材（木材等）を活かした人に優しい空間づくりが効果的ではないか。 ・ 北部観光周遊施設として位置図けるには難しいと思う。 ・ 他の施設との連携（周遊）案が現状では想像できない。 ・ 旅行会社やイベント会社の意見を取り入れるのが先決ではないか。 ・ 学校教育（歴史・文化）の一環として施設PRは可能と思う。
<p>市がお支払いする上限額に応じ、柔軟な提案を行うことについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上限額に合わせた空間リニューアルの提案とすることで可能である。 場合によっては市の要望する内容を、協議の上簡素化する必要はある。 ・ 市の要望にもよるが、空間リニューアル（屋根や壁等の大規模修繕は含まない）といった内容であれば、可能である。 ・ 予算内で対応できる範囲での施工となる ・ 国史跡なので施設改修においても様々な制約がかかると思うので、関係各所との綿密な打ち合わせが必要で、これに基き工事内容、工期、費用を算出すべきでは。
<p>本事業が令和7年3月までに完了する見込みについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市の要望するリニューアルの内容にもよるが、可能と思われる。 ・ 市の要望するリニューアルの内容にもよるが、事業者決定までの期間に可能な範囲で情報提供や現地見学等を実施する事で可能と思われる。 ・ 文化財施設内での工事となるため、想定される工事内容について制限される可能性が無いか発注者の方で事前に確認して欲しい。 ・ 設計がある程度、固まった段階での積算となるためかなり工期が厳しいと思われる ・ 中途半端な改修工事は、予算の無駄遣いになりかねない。

<p>宇宿貝塚保存活用計画書の内容に沿った提案及び宇宿貝塚史跡公園活用検討委員会による提案を柔軟に取り組むことについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設の文化財の魅せ方のコンセプトを具体的に示す事で可能であると思われる。 ・具体的な提案があれば可能である ・史跡・設計、改修工事・観光、イベント、教育の専門家等で議論の場を一度設けてみては？（時間が無いのはわかるが議論の価値はあると思います。）
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラスブロック、吹き抜けの大空間であるため空調に負荷がかかる施設となっている。将来的に改修を検討する際には省エネに配慮した設計とすることが望ましい。 ・提案の際に求める資料について、CGO枚程度、模型の提出の有無等具体的に示す事で、提案者の過度な負担を避ける事ができる。 ・史跡や遺跡などは、インバウンドとしての魅力はあまり感じないような気がする。むしろ、学校教育や地元地域住民へのPR（意識の醸成）の方が良いのではないか。 ・施設を見学した後、体験学習（土器づくり、火起こし、方言、島唄など）他のイベントと組み合わせる等